

すくすく園では、お子様が病気の回復期にお預かりしています。普段は元気いっぱいの子ども達も疲労で体調を崩すこともあります。ご家庭でもかかりやすい病気についての症状と正しい対応を知っていればあわてずに済みます。鳥取県中部感染症流行情報を参考にいただき、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底しながら病気に負けないように体調管理を心がけていきましょう。

鳥取県中部感染症流行情報

疾病名	第1週	第2週	第3週	第4週
インフルエンザ	×	×	×	×
感染性胃腸炎	×	△	△	○
水痘(水ぼうそう)	×	×	×	△
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	×	△	×	×
手足口病	×	×	×	×
ヘルパンギーナ	×	×	×	×
咽頭結膜熱	△	×	×	×
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	×	×	×	×
流行性角結膜炎	×	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×	×
RSウイルス感染症	×	×	×	×

★警報発令中

◎流行している

△散発

○やや流行している

×患者発生極少又はなし

今月の気になる病気

ノロウイルス感染症

ノロウイルス感染症は、乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層に急性胃腸炎を引き起こす、ウイルスの感染症。長期免疫が成立しないため何度もかかります。主に経口感染で、ノロウイルスに汚染された二枚貝などを摂取することで感染します。ご家庭では、感染者の便や嘔吐物に触れた手指で取り扱う食品などを介して、二次感染を起こすことが多いです。

- * 症状 潜伏期間は12～48時間 突発性の嘔吐・吐き気、腹痛から水様性の下痢症状。
- ・発熱は37～38℃の軽度で、大人では吐き気や腹部膨満感といった症状が強いようです。
- ・下痢は水様性で、重症例では1日に十数回も見られますが、通常は2～3回で治まります。

ロタウイルス感染症

ロタウイルス感染症は、乳幼児をはじめ子どもに多い急性胃腸炎を引き起こす感染症で、他のウイルス胃腸炎にくらべて下痢や嘔吐の症状がはげしいことが多く、入院が必要となる小児急性胃腸炎の原因のうち50%を占めるとされています。主に経口感染と接触感染で感染します。ご家庭では汚染された水や食べ物を介して、あるいは汚染された物の表面(ドアノブ、手すり)に触った手などから口に入り感染します。日本では、2種類のロタウイルスのワクチンが承認されていて、任意で接種を受けることができます。

- * 症状 潜伏期間は1～3日
- ・3～8日続く水様性の下痢と嘔吐、39℃以上の発熱や腹痛
- ・便の色が白い(大量の水様性の下痢が出ることから脱水に陥りやすく注意が必要です。)

◇感染症予防策

- ・しっかり手洗い・消毒し、感染をストップさせましょう。
- ・うがいでしっかり予防しましょう。
- ・感染拡大防止のため、洗浄・除菌を行いましょう。

